

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進	施策	② 観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○学術・文化・地域間交流等の推進
主な取組	内閣府青年国際交流事業派遣			
対応する主な課題	③歴史的・地理的特性により培われた沖縄の発展可能性は、諸外国・地域との交流と連携を深めながらともに発展していくという取組の中で特に発揮されるものであり、観光・学術・文化・経済など様々な分野における国際交流や地域間交流を強化し、交流の架け橋となる人材の育成や人的ネットワークの構築等により交流基盤としてのウチナーネットワークを強化・拡充することが必要不可欠である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
内閣府青年国際交流事業は、日本と諸外国の青年の交流を行い、青年の国際的視野を広め、国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい青少年を育成することを目的としている。各都道府県で同事業を実施し、県内青年に対する募集事務と第1次選考を実施している。						
実施主体		内閣府青年国際交流事業への県内青年派遣				
担当部課【連絡先】		子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課 【098-866-2174】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	内閣府青年国際交流事業派遣費						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
県単等	直接実施	91	59	89	57	0	92	県単等	OR2年度： 内閣府からの依頼を受け、県内青年の募集及び第1次選考を実施。内閣府へ推薦を行った。(新型コロナウイルス感染症の影響で事業は中止となった。) OR3年度： 内閣府からの依頼を受け、県内青年に対する募集事務と第1次選考を実施し、内閣府へ推薦を行う。	
予算事業名	—						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
		—	—	—	—	—	—		OR2年度： — OR3年度： —	

様式1(主な取組)

活動指標名	内閣府青年国際交流事業への県内青年派遣				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	県内青年 の推薦	—	100.0%	0	順調	内閣府からの依頼を受け、県内青年に対する募集事務と第1次選考を実施し、内閣府へ推薦を行った。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で事業は中止となった。
活動指標名	—				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	—	—	—	—	—	—				令和2年4月の沖縄県での第1次選考では応募者3名を全員内閣府へ推薦することを決定した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業は中止となった。
活動指標名	—				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き沖縄県青年国際交流機構と連携を図り、大学等での事業報告会やパネル展などを実施し、事業の認知度を高める。 内閣府との連携を強化し、事業の安全・円滑な実施に向けて取り組む。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から沖縄県青年国際交流機構の主催でWEBを用いた事業報告会を開催。事業の認知度を高めた。 内閣府との連携を強化し、事業の安全・円滑な実施に向けて取り組む。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・例年応募者が少ないため、事業の認知度を高める必要がある。

○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が事業の執行に影響を与える恐れがある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・県内青年の事業認知度を高めるため、広報活動の強化を図る。
- ・主催者である内閣府との情報共有を密にする必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・引き続き沖縄県青年国際交流機構と連携を図り、可能な形で事業報告会やパネル展など事業周知の取組を実施し、認知度を高める。
- ・内閣府との連携を強化し、事業の安全・円滑な実施に向けて取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進	施策	② 観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○学術・文化・地域間交流等の推進
主な取組	沖縄戦の記憶継承			
対応する主な課題	③歴史的・地理的特性により培われた沖縄の発展可能性は、諸外国・地域との交流と連携を深めながらともに発展していくという取組の中で特に発揮されるものであり、観光・学術・文化・経済など様々な分野における国際交流や地域間交流を強化し、交流の架け橋となる人材の育成や人的ネットワークの構築等により交流基盤としてのウチナーネットワークを強化・拡充することが必要不可欠である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
対馬丸事件等の沖縄戦の歴史的教訓を次世代に継承するとともに、事業参加者の交流を図る。						
実施主体		県				
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【098-866-2500】					
		対馬丸事件等の沖縄戦の歴史的教訓を次世代に継承していくための取組				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 対馬丸平和学習交流事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	-	-	4,384	4,404	0	4,622	県単等	OR2年度： 小中学生の平和交流を鹿児島県大島郡宇検村にて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染感染拡大防止の観点から事業の施行を保留した。 OR3年度： 鹿児島県大島郡宇検村と連携し小中学生を対象とした平和学習交流事業を同村にて実施する。
予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									OR2年度： OR3年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	参加人数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	-	-	30	30	-	30	0.0%	0	未着手	<p>活動概要</p> <p>沖縄県内の小中学生及びその親（合計で30名）が対馬丸事件の生存者や犠牲者が流れ着いた鹿児島県大島郡宇検村を訪れ、対馬丸事件を学ぶと共に、同村の小中学生と交流する計画であったが、新型コロナウイルス感染感染拡大防止の観点から事業の執行を保留した。</p>
活動指標名					R2年度					
実績値										
活動指標名					R2年度					
実績値										
活動指標名					R2年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 奄美大島の参加者（児童・生徒）を宇検村に限らず、周辺市町村である瀬戸内町と大和村に広げることで交流の規模を拡大する。 報告書の配布やパネル展の実施などにより、研修参加者だけの平和学習に留まらず、二次的な学習が可能となるよう事業広報の取組を実施する。 実施結果をまとめ、関係機関とノウハウや課題を継続的に共有し、より円滑な事業実施に努める。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染感染拡大防止の観点から、事業の執行を保留した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、職員の県外への渡航・往来に制限が生じた。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症が猛威振るい、緊急事態宣言が発出されるなど県外への渡航・往来に制限が生じた。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・オンライン交流の可能性を模索する。

4 取組の改善案 (Action)

・オンライン交流の可能性を模索する。